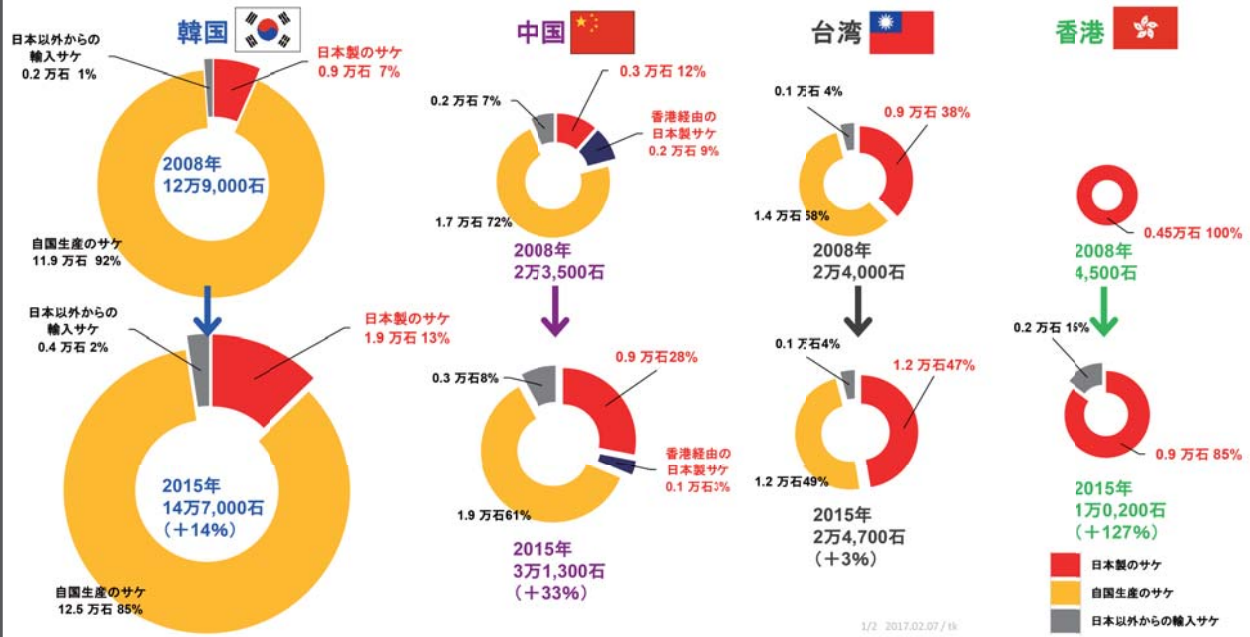


各国の「サケのマーケットサイズ」と「日本製・自国製などのシェア」 <アジア主要4か国、2008年→2015年、推定値>

Estimated Saké market size and share, made in Japan, made in each country, made in the third countries, 2008 vs 2015 unit: "koku" = 180 litre



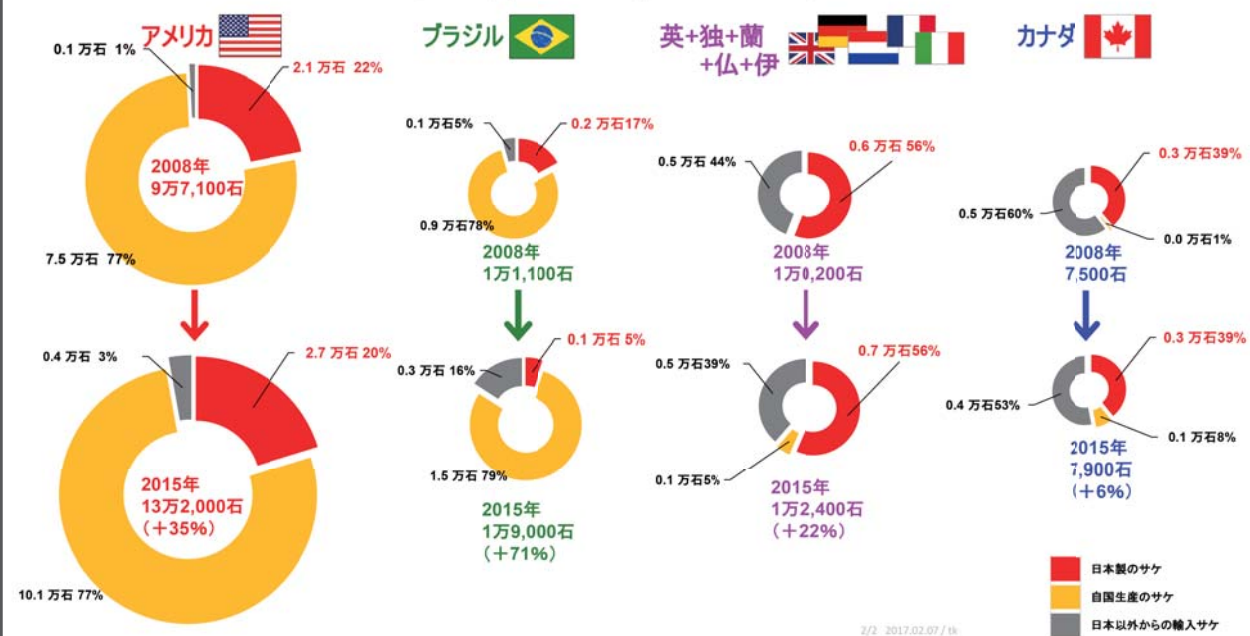
■【市場サイズ】韓国:12.9万石→14.7万石、中国2.35万石→3.13万石、台湾2.40万石→2.47万石、香港:0.45万石→1.02万石 (2008年→2015年、当社による推定値、以下同じ)

■【日本酒 (= 日本製のサケ) のシェア】韓国:7%→13%、中国12%(+香港経由9%)→28%(+同3%)、台湾38%→47%、香港:100%→85%

■韓国はLOTTE酒類、中国は日系と現地資本の数社、台湾はTTLほか、が現地で製造するサケが国内シェア過半を占める状況に変わりはありませんが、近年は日本製のシェアが伸びてきていることがわかります。台湾における台湾製は、量は減っていますが、吟醸酒など高級品を商品化してきています。
■香港は、市場サイズの伸び率が7年で+127%と最も高い。需要の伸びは2008年から酒税をゼロにした影響も大きい。2008年は100%日本製でしたが、近年は韓国製や米国製のサケが若干入っています。なお、香港への日本酒の輸出量は日本の統計上9,700石(2015年)ですが、中国への再輸出やハンドキャリーを差し引いて、香港内の需要量を推定してグラフ化しています。サケに限った事ではありませんが、「中国が輸入したものより、香港経由の製品のほうが信頼が置ける」と考える消費者が中国には存在します。

各国の「サケのマーケットサイズ」と「日本製・自国製などのシェア」 <欧米主要4か国、2008年→2015年、推定値>

Estimated Saké market size and share, made in Japan, made in each country, made in the third countries, 2008 vs 2015 unit: "koku" = 180 litre



■【市場サイズ】アメリカ:9.71万石→13.2万石、ブラジル1.11万石→1.90万石、欧州5か国1.02万石→1.24万石、カナダ:0.75万石→0.79万石

■【日本酒 (= 日本製のサケ) のシェア】アメリカ:22%→20%、ブラジル17%→5%、欧州5か国56%→56%、カナダ:39%→39%

■アメリカでは日本酒の量(日本からの輸出量)は増えていますが、シェアは逆にわずかに減っていると考えられます。ブラジルは、日本製の量・シェアともに大きく減少、ブラジル製(「東麒麟」、キリンビール傘下)が伸びたほか、近年はアメリカ製の輸入が増えていきます。

■英・独・蘭・仏・伊が欧州サケ消費主要5か国。日本製(赤色)の量を1桁詳しく書くと5,700石→7,000石で増えていますが、シェアは56%で横ばい。2015年に「自国生産のサケ」(黄色)があるのは、近年、オランダのTOORANK社が「product of the Netherlands」と表記したサケを商品化し、英国の大手小売チェーンで販売していることを反映。「日本以外からのサケ」(グレー)は、アメリカ製日本ブランドが主ですが、韓国製も増えていきます。

■カナダも、日本製を1桁詳しく書くと2,900石→3,100石で微増、シェアは横ばい。現地のマイクロ・サケ醸造所3社の製造量は数百石(丸めると0.1万石)になっています。ただ、カナダの市場サイズの伸びは7年間で+6%にとどまり、台湾と並んで低い伸び率です。

■2枚のスライドは「アジア圏」と「欧米圏」ですが、並べてみると総じてアジアのほうが伸びているように見えます。なお、2008年のデータはそれなりに精度がありますが、2015年は各国のデータが取得しにくく、推定の要素をより多く含みます。(text = t. kita)